

平成25・26年度の奈良県食育推進会議の進め方について

10年後の県民健康寿命日本一を目指し

新たに「なら健康長寿基本計画」
(平成25～34年度)を策定

- 健康指標の科学的な観察・評価に基づき推進。
- 保健・医療・福祉・介護の7つの関連計画の上位計画と位置づけ、効果的な連動による推進。
(食育推進計画も関係計画の一つ)
- 食育に関する重点健康指標
 - (1)食育推進計画策定市町村数(18→39全市町村)
 - (2)日本型食生活実践率(47.1→52.0%)

第2期奈良県食育推進計画(平成24～29年度)

- 基本目標：食育により健康な心身を作り、健康長寿をめざす
(健康づくりを目標とした計画として位置づけ)
- 基本的な考え方
 - 家庭の場を重視した食育の取り組みの推進
 - 将来の健康長寿に向けた、子どもへの食の働きかけの徹底
 - 誰もが楽しく容易に実践できる、ライフステージに応じた健康食生活の提案

平成25・26年度食育推進会議の方向性

- ◎第1期食育推進計画では子どもの朝食欠食に取り組み、一定の成果。
- ◎食生活の課題が多い大人を対象にした対策が不十分。
- ◎高血圧や脳卒中の原因となる食塩・砂糖・脂肪等の摂取量を減らす健康的な食生活の実践が、最も効果的な対策の一つ。

会議のミッションは減塩など健康的な食生活を実践するための具体的な介入方法と、その普及を行うための施策の検討。

会議の目標と構成員の役割

委員構成と担当分野

検討事項

会議の目標

1. 健康的な食生活を実践・支援する人を増やす

- ①健康的な食品の提供
(ならコープ 野村由佳 委員)
- ②健康食情報の収集・提供
(パープル編集部 山下雅央 委員)
- ③食育推進企業団の検討
(奈良県農業協同組合 河合伸晃 委員)
- ④食育理解者の養成
(奈良女子大学 塚本幾代 委員)

- ・健康を意識した食品、食材等の提供量は消費者が満足できるものとなっているか。
- ・健康を意識した食品、食材、その利用店などの情報が十分に提供されているか。
- ・食育推進のための人材、活動資金が十分であるか。
- ・食育を理解する県民が多いと言えるか。

2. 様々なルートを使った健康食生活の指導・普及

- ⑤健康食生活の普及
(食生活改善推進員 柿本順子 委員)
- ⑥子から親への健康食生活の普及
(PTA協議会 北野宥範 委員)
- ⑦健診時栄養指導の検討
(管理栄養士 辻本昌代 委員)
- ⑧子どもへの健康食生活教育
(奈良教育大学 鈴木洋子 委員)

- ・若い世代・働き盛り世代への健康食生活の普及は、どのようにしていくのか。
- ・子どもから親への健康食生活の普及が必要ではないか。
- ・市町村が実施する特定健診やがん検診時に専門家による個別の簡易栄養指導ができないか。
- ・学校教育で健康食生活、健康教育に十分に組み込んでいるか。

3. 具体的な健康食生活実践方法の検討

- ⑨健康調理法の普及
(わかばね調理専門学校 田中賀洋子委員)
- ⑩健康食生活の介入方法の検討
(奈良県立医科大学 車谷典男 委員)
- ⑪子どもの適切な糖分摂取のあり方の検討
(学校医 藤岡庄司 委員)
- ⑫食の統計分析
(東京医科歯科大学 田中博 委員)

- ・減塩、減糖、減脂肪である美味しい調理法を普及することはできるのか。
- ・県民の健康食生活に向けた行政等による効果的な介入方法は何か。
- ・無糖飲料の普及等適切な対応は何か。
- ・データに基づく県民の食生活の評価を定期的に行うべきではないか。

- ⑬公募委員 小瀬賢次 委員 (働き盛りの食育)
- ⑭尾川欣司 委員 (会長代理)
- ⑮知事 (会長)